

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0315
施設名	成木保育園
施設所在地	青梅市成木4-683-5
法人名	社会福祉法人 成木保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

テーマ 自然生かした探究活動 ～森林体験を通して～

本園は、山と川に囲まれた自然豊かな環境にある。古来より林業が盛んな地域でもあり、林業を営む事業所も多い。そこで、この豊かな自然を活用することで自然界との共生のことや日常生活との関わりを通して、想像力を高め、豊かな感性を育むことにした。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
子ども達に下記の問いを投げかけるところからスタートした。
①成木保育園の良いところは何だろうか? ⇒皆の仲が良いところ。園舎がとても新しくきれい。園の周りの自然がとても豊か。成木川や山がすぐ近くにある。②山の森を見て何を感じますか? ⇒緑がいっぱい。色々な木がはえている。秋は紅葉がとてもきれい。③この木から何が作られているのかな? ⇒私たちの園舎。木の匂いがする。家や床、木のおもちゃ、家具など。庭のベンチも木で作ってある。④では、ベンチを皆で作ってみようか? ⇒作りたい。どうやって作るの?木を切ろう!⑤近くの山に入って木を伐採してベンチを作ってみよう。

2. 活動スケジュール

ステップ1 「あまがさすの森」に入り、森について講師の先生から学ぶ。
ステップ2 園庭に置く、ベンチを製作するための木を伐採する。
ステップ3 伐採した木について調べる。
ステップ4 倒した木を園に持ち帰り、木の皮を剥ぐ。
ステップ5 ベンチを製作する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
①森林に入ることは危険が伴うので、事前に講師の先生と十分な打ち合わせを行った。子ども達の服装について保護者に協力をお願いした。
②子ども達に講師の先生から、森林に入る上での注意事項を丁寧に伝えていただいた。ヘルメットの購入を行った。
③伐採した木をベンチにする際に必要な工具を購入した。
④どの工程で子ども達の達成感を高めるかを講師と打ち合わせをした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

① 「森」って何だろう？→保育園から見える山の木の種類は？（スギ・ヒノキ・モミなど針葉樹）この森は昔から成木地区にあり、生活を支えて来たことなど事前学習をする。②実際に「あまがさすの森」に入り、自然を味わう。間引きや間伐について知り、豊かな水を蓄えていることなどを知る。③どうやって木を倒すの？→ヒノキを伐採することで倒し方や安全について考え学ぶ。④この木は何歳？→倒した木を見て、水分の吸収のことや年輪のことを学ぶ。⑤皮を剥ぐ。木は数か月寝かせてから、加工することを知る。⑥園庭に置く、ベンチを仲間と協力して製作する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

ベンチのパーツを組み立てる中でパズルのような感覚をもつなど思考が深まっていった。木の香りを初めて嗅いだ子どもは良い香りがすることに驚いていたり、すべすべした感触を味わっていた。また、完成したベンチをみて、自分たちが伐採した木がこうして生活に直結するということが肌で感じたり、仲間と協力して一つのことを成し遂げる楽しさを知った様子が見られた。保護者も貴重な体験が出来たことに感謝の声を寄せてくれた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 森林体験を通して、園児が自分達で考え探究していくことが、子ども達が成長していくうえで必要であると感じた。
- 園児が感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しんでいる姿を見て、感性と表現が育っていると感じた。
- 子ども達一人一人には様々な発想があり、保育者はそれを大切にしなければならないことを改めて感じた。
- この探究活動が本園のめざす園児像「いきる力」につながると考える。